1 条件整理

1-1 新設計画3公園の配置

朝霞市はこれまで身近な公園の創出に努めてきたが、公園が不足する地域(ピンクの区域)が残されている。

新設を計画している3公園は、「日常的・広域的なレクリエーションの場の不足」する地域に位置し、公園 不足地域の解消に資する。

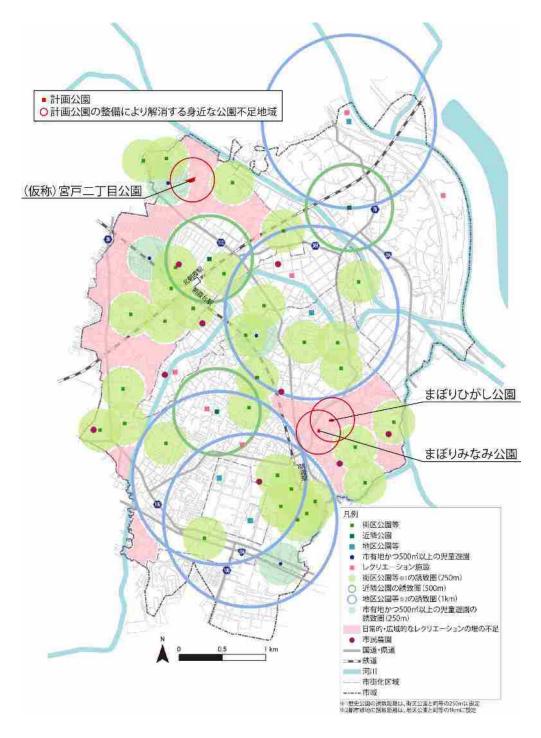


図 I-1 新設計画3公園の位置 朝霞市緑の基本計画P31図2-18レクリエーション機能の図に新設計画3公園を加筆

1-2 新設計画公園の基本的な考え方

1-2-1 身近な住環境における課題

頻発する豪雨等の異常気象や自然災害を受けて防災や環境問題への対応が喫緊の課題になるほか、 新型コロナウイルス感染症拡大を受けたライフスタイルの変化により、身近な公園や緑などゆとりある屋外 空間や、徒歩や自転車で回遊できる空間の役割が増大している。

1-2-2 公園種別の特性

公園種別は街区公園であり近隣住民のだれもが利用することができる最も身近な公園である。

1-2-3 基本的考え方

公園種別の特性を踏まえ、基本的な考え方を以下のとおり設定する。

- 1) 平常時には憩いとゆとり、非常時に強さを発揮する公園
- 2) 遊び場や軽運動などの動的なエリアと休息のエリアをゆるやかに分けた誰もが楽しめる公園
- 3) 四季折々に楽しむことのできる草木や蝶やバッタなどの生き物にふれあえる公園

身近な住環境 における課題

頻発する豪雨等の異常気象や自然災害を受けて防災や環境問題への対応が喫緊の課題になるほか、新型コロナウイルス感染症拡大を受けたライフスタイルの変化により、身近な公園や緑などゆとりある屋外空間や、徒歩や自転車で回遊できる空間の役割が増大している

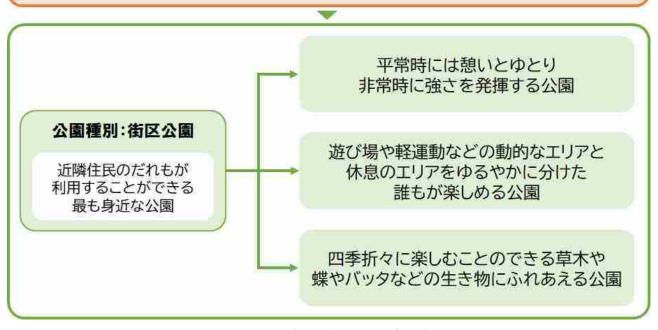


図 |-2 新設計画公園の考え方

2 各公園の基本構想

2-1 (仮称)宮戸二丁目公園

2-1-1 位置

(仮称)宮戸二丁目公園の計画地は、本市の北西部にあり、「日常的・広域的なレクリエーションの場の不足」する地域に位置している。

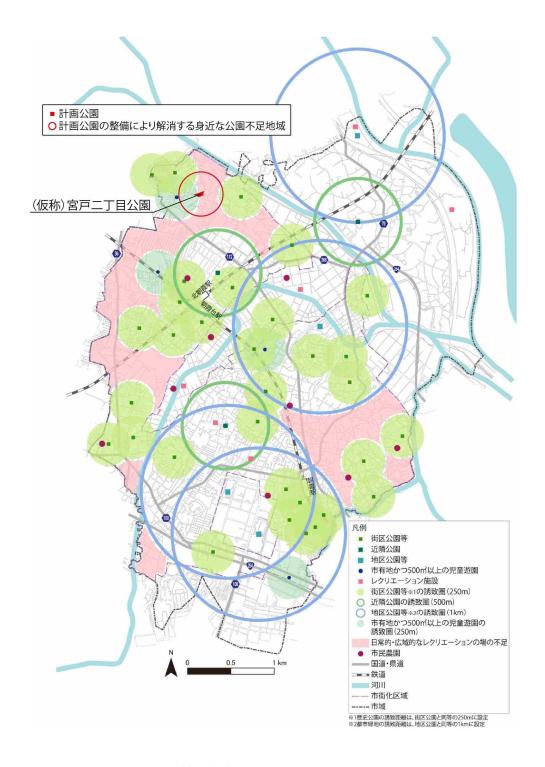


図 1-3 (仮称)宮戸二丁目公園の位置図

※朝霞市緑の基本計画P31図2-18レクリエーション機能の図に(仮称)宮戸二丁目公園を加筆

2-1-2 立地条件

本計画地は、段丘から浅い開削谷にかけて立地し、敷地内に高低差を有する。立地条件の概要は下表の通りである。

表 |-1 立地条件の概要

所在地	朝霞市宮戸2丁目1036番2ほか
地形	・ 段丘から浅い開削谷にかけて立地・ 敷地内に高低差有り
周辺用途地域	第一種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域
ハザードマップ	浸水実績なし・浸水想定なし
その他	前面道路は交通量が多く幅員が狭いバス通り隣接して屋敷林等豊かな緑が存在する当該地域は、宅地化によるみどりの減少により環境保全機能や防災機能が後退し、レクリエーション機能が不足していると考えられる



図 |-4 (仮称)宮戸二丁目公園周辺の地形

※国土地理院基盤地図情報、国交省国土数値情報より作成



図 I-5 (仮称)宮戸二丁目公園周辺の用途地域 ※国土地理院基盤地図情報、国交省国土数値情報より作成

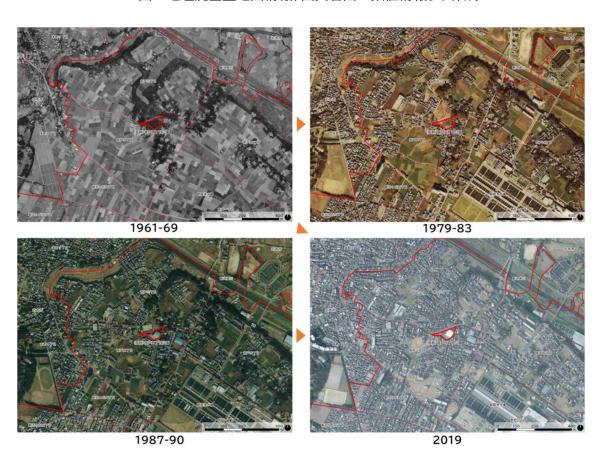


図 I-6 (仮称)宮戸二丁目公園周辺の環境変遷 ※国土地理院電子国土より作成

2-1-3 基本構想の検討

1) 方針・整備テーマ

(仮称)宮戸二丁目公園の整備においては、新設計画公園の基本的な考え方を踏まえるとともに、「個人庭や屋敷林などの地域の豊かなみどりや地形起伏と連続する風景づくり」や「バス待ち空間や道路歩道の改善」に配慮することが求められる。

(仮称)宮戸二丁目公園における立地特性に即したテーマを以下の通り設定する。

(仮称)宮戸二丁目公園における配慮事項

個人庭や屋敷林などの地域の豊かな みどりや地形起伏と連続する風景づくり

バス待ち空間や道路歩道の改善

3公園共通方針

平常時には憩いとゆとり 非常時に強さを発揮する公園

遊び場や軽運動などの動的なエリアと 休息のエリアをゆるやかに分けた 誰もが楽しめる公園

四季折々に楽しむことのできる草木や 蝶やバッタなどの生き物にふれあえる 公園 (仮称)宮戸二丁目公園の立地特性に即したテーマ設定

四季を楽しむ桜の広場

起伏のある多様な遊び空間

地域の水循環と連動する雨庭

公園と一体となった快適なバス待ち空間

図 1-7 (仮称)宮戸二丁目公園の整備テーマ

2) ゾーニング図

(仮称)宮戸二丁目公園における整備テーマを展開するゾーンを、以下のゾーニング図に示す。



図 1-8 (仮称)宮戸二丁目公園ゾーニング図

3) 基本構想図・導入機能イメージ

整備にあたっては、公園と一体の快適なバス待ち空間を整備するとともに、クマノザクラなど多様な桜を楽しめる桜の広場、災害時に強さを発揮する防災機能(雨水浸透、ソーラー照明、災害用トイレなど)や、誰もが楽しめるユニバーサルデザインなど、健康づくりや憩いの場として多面的な価値を有する新しい公園とする。

(仮称)宮戸二丁目公園の基本構想図・導入機能イメージは以下の通り。



図 |-9 (仮称)宮戸二丁目公園基本構想図・導入機能イメージ

4) 鳥瞰構想図・イメージパース

(仮称)宮戸二丁目公園の鳥瞰構想図・イメージパースは以下の通り。



図 |-10 (仮称)宮戸二丁目公園鳥瞰構想図



サイクルポート、遊び場

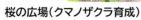
砂場と井戸ポンプ



中央の原っぱ

暑熱対策のひよけベンチ







公園と一体となったゆとりのバス待ちゾーン



辻から連続する花・みどり

図 1-11 (仮称)宮戸二丁目公園イメージパース